

【 養成医に聞く 】 兵庫県立淡路医療センター

【自己紹介】

名前：園田 あゆみ

勤務先：兵庫県立淡路医療センター 産婦人科

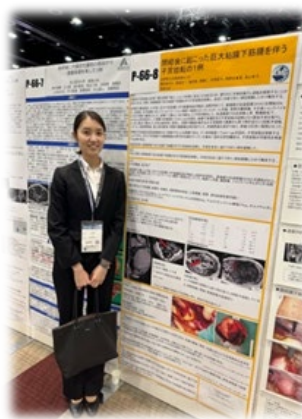
経歴：

2021 年 3 月 神戸大学卒業

2021 年 4 月～2023 年 3 月

兵庫県立淡路医療センター 初期研修

2023 年 4 月～ 現職



【地域の紹介】

淡路島は人口約 13 万人の離島で、北は明石海峡大橋で神戸市に、南は大鳴門橋で徳島県に隣接しています。当院は洲本市に位置しており、神戸から車で約 1 時間のところにあります。高齢化率は 37% と県下で最も高齢化率が進んでいる地域です。

名産品として玉ねぎがよく知られていますが、他にも淡路牛や鰯、3 年とらふぐなどが有名です。大浜海岸という海水浴場が病院のすぐ近くにあり、夏場は特に賑わっています。研修医時代は終業後に泳ぎに行ったりしていました。また、今年は 5 年ぶりに淡路島まつりが通常開催され、当院からも多くのスタッフが県病連としておどり大会に参加していました。最終日には花火大会もありました。



キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597 (神戸大学総合内科医局内)

【当院の特徴】

淡路島の急性期医療をほぼ一手に担う 441 床の中規模病院です。島内最後の砦として地域完結型医療を行っています。比較的診療科が揃っており、かつ各科の垣根が低いので相談しやすい環境です。外科、整形外科、産婦人科、小児科、精神科に養成医が派遣されています。産婦人科は、島内で唯一分娩可能な病院として年 500 件程度の分娩を取り扱っています。専攻医から外来を担当しますので、正常妊娠からハイリスクまで様々な症例を主治医として経験することができます。また、島内唯一の婦人科腫瘍、癌の拠点病院としての役割を担い、産科・婦人科の 2 次救急・緊急手術を 24 時間体制で引き受けています。卵巣腫瘍茎捻転や異所性妊娠の症例を経験することができます。また、2023 年 7 月より手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され、産婦人科でもロボット手術を行っています。専攻医も資格を取得して助手として手術に参加しています。

【地域医療の魅力】

一般的な症例は満遍なく経験でき、稀な疾患もたまに紛れ込んでいます。私は専攻医 1 年目で子宮捻転の症例を経験しました。(かなり珍しいです)

地域医療の魅力は、限られた医療資源の中で、いかに安全なお産や手術ができるかを考え、行動していくところだと思います。自分の病院で対応できることは限られているので、危険な状態になる前に早めに手を打って他院へ搬送したり、手術を前倒したりと動いていくことが重要です。そういった判断は市中の病院で働く限り必要不可欠なので、線引きや対応を学ぶ良い機会だと思います。

また、一緒に働く助産師さんたちはとても温かく、分娩で教わることはたくさんあります。地域の事情もよく教えてもらえます。

たくさんの方々に助けていただきながら日々の診療を行っています。成長して地域に役立つことができるように努力していきたいです。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。最後に、お気に入りの病院からの景色です！



キャリア形成卒後支援ユニット
postgrad@med.kobe-u.ac.jp



〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597 (神戸大学総合内科医局内)